

福島原発惨事に関する決議

IADL は、

4月15日から19日にブリュッセル自由大学における第18回大会および総会に参集し、

日本の人々が、2011年3月11日の大震災および津波に引き続いて、福島第一原発における核惨事に依然として苦しんでいることを認識し、

2014年4月4日～5日に、専門家、法律家および市民活動家が「福島における核と人権に関する第2回全国調査交流大会」において「人類は核エネルギーと共存できない」というパネル・ディスカッションを開催したことに留意し、

福島第一原発の周辺住民は、故郷を離れて、十分な住居を与えられることなく、移住することをいまだに余儀なくされていることを知り、

パネル・ディスカッションを通じて、核エネルギーの利用が核兵器の開発や製造に結びつきうるものであって、核の問題について真剣な意見の交換や深い省察が行われていたことを歓迎し、

世界の人々に対して、福島およびチェルノブイリの核惨事の被害者を支援するように訴え、

「人類は核エネルギーまたは核兵器と共存できない」というパネル・ディスカッションに参加した人々によってなされた努力を共有することを決意する。

(訳：新倉修)